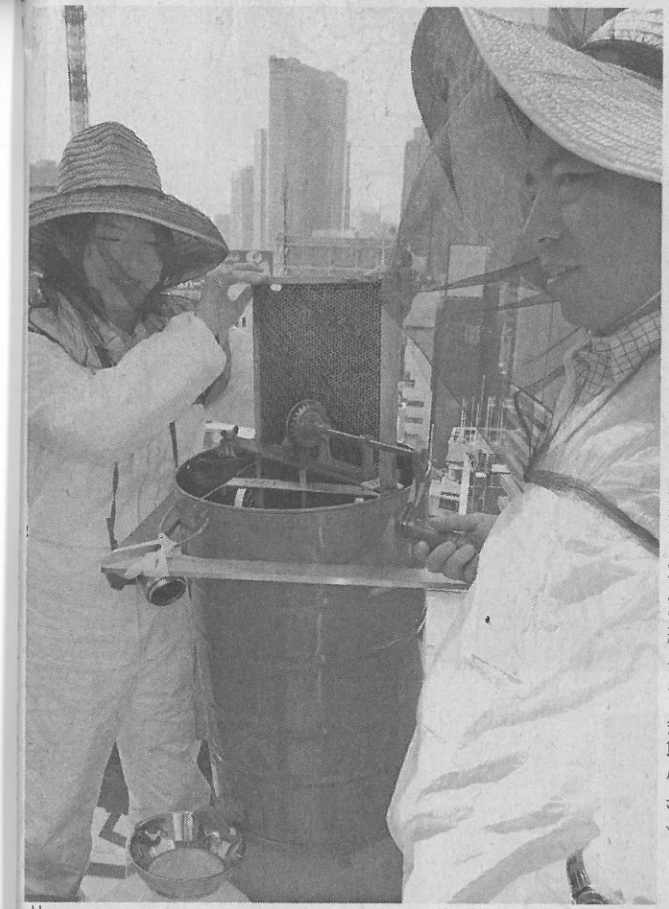

都心で採れたはちみつの分離作業（4日、東京・銀座の紙パルプ会館屋上で）

"花"の銀座で―はちみつづくり

東京・銀座のビルの屋上で4日、1週間前に都内に放った3万匹の西洋ミツバチから、市民団体がはちみつを採取した。採みつ量は7・5キロ。桜の香りがする甘いみつに関係者から歓声があがった。

巣箱を設置したのは、市民団体・銀座食学塾と銀座の街研究会のメンバー。東京のまん中に食べ物の生産現場を持ち込もうという発想。ミツバチは皇居の桜や浜離宮に咲く菜の花などを目指して飛び回り、みつを集めてきた。